

■ 目 次 ■

■ 本書の使い方

1. 本書について 3
2. 収録車種について 3
3. 収録内容について 3
4. 関連センサーの点検と手順について 4
5. 配線色と用語について 4

・ トヨタ ・

1 アルファード&ヴェルファイア

(ANH20W・25W、GGH20W・25W 型)

1. 自己診断 5
2. 部品配置図 8
3. 配線図 12

2 ヴァンガード

(ACA33W・38W、GSA33W 型)

1. 自己診断 22
2. 部品配置図 24
3. 配線図 27

3 ヴォクシー&ノア

(ZRR70G・70W・75G・75W 型)

1. 自己診断 30
2. 部品配置図 32
3. 配線図 36

4 クラウン

(GRS200・201・202・203・204 型)

1. 自己診断 40
2. 部品配置図 43
3. 配線図 48

5 プリウス

(ZVW30 型)

1. 自己診断 54
2. 部品配置図 57
3. 配線図 61

6 パッソ

(KGC30・35、NGC30 型)

1. 自己診断 67
2. 部品配置図 69
3. 配線図 72

・ 日 産 ・

7 エクストレイル

(T31、NT31、TNT31、DNT31 型)

1. 自己診断 76
2. 部品配置図 79
3. 配線図 81

8 スカイライン

(V36、NV36、PV36、KV36 型)

1. 自己診断 86
2. 部品配置図 92
3. 配線図 95

9 ティアナ

(J32、TNJ32、PJ32 型)

1. 自己診断 101
2. 部品配置図 103
3. 配線図 105

10 ノート

(E11、NE11、ZE11 型)

1. 自己診断 107
2. 部品配置図 112
3. 配線図 114

・ ホンダ ・

11 インサイト

(ZE2・3 型)

1. 自己診断 117
2. 部品配置図 119
3. 配線図 121

12 オデッセイ

(RB3・4 型)

1. 自己診断 127
2. 部品配置図 130
3. 配線図 132

13 ステップワゴン/ステップワゴン スパーダ

(RK1～4 型/ RK5～8 型)

1. 自己診断 136
2. 部品配置図 138
3. 配線図 143

14 ストリーム

(RN6・7・8・9 型)

1. 自己診断 159
2. 部品配置図 161
3. 配線図 163

15 フィット

(GE6・7・8・9 型)

1. 自己診断 166
2. 部品配置図 168
3. 配線図 170

・ 三 菱 ・

16 ギャラン フォルティス

(CY3・4・6 型)

1. 自己診断 172
2. 部品配置図 173
3. 配線図 175

・マツダ・

17 MPV

(LY3P 型)

1. 自己診断 199
2. 部品配置図 201
3. 配線図 202

18 アクセラ／アクセラ スポーツ

(BL5FP/W、BLEFP/W、BLFFP/W、BLEAP/W 型)

1. 自己診断 219
2. 部品配置図 221
3. 配線図 222

19 アテンザ／アテンザ スポーツ (含むワゴン)

(GHEFP/S/W、GH5FP/S/W、GH5AP/S/W 型)

1. 自己診断 230
2. 部品配置図 232
3. 配線図 233

20 デミオ

(DEJFS、DE3FS、DE3AS、DE5FS 型)

1. 自己診断 245 (253 ※)
2. 部品配置図 247 (254 ※)
3. 配線図 248 (255 ※)

※ DEJFS 型モデルはカッコ内の頁を参照。

・スバル・

21 インプレッサ／インプレッサ アネシス

(GH2・3・6・7・8／GE2・3・6・7 型)

1. 自己診断 260
2. 部品配置図 262
3. 配線図 264

22 レガシーツーリングワゴン／レガシィ B4

(BRG、BRM、BR9、BRF／BMG、BMM、BM9 型)

1. 自己診断 269
2. 部品配置図 273
3. 配線図 277

・ダイハツ・

23 タント／タント カスタム

(L375S、L385S 型)

1. 自己診断 287
2. 部品配置図 288
3. 配線図 290

24 ムーヴ／ムーヴ カスタム

(L175S、L185S 型)

1. 自己診断 296
2. 部品配置図 297
3. 配線図 299

25 ムーヴ／ムーヴ カスタム

(LA100S、LA110S 型)

1. 自己診断 305
2. 部品配置図 306
3. 配線図 308

・スズキ・

26 エブリイ

(DA64W 型)

1. 自己診断 313
2. 部品配置図 316
3. 配線図 318

27 パレット／パレット SW

(MK21S 型)

1. 自己診断 327
2. 部品配置図 332
3. 配線図 333

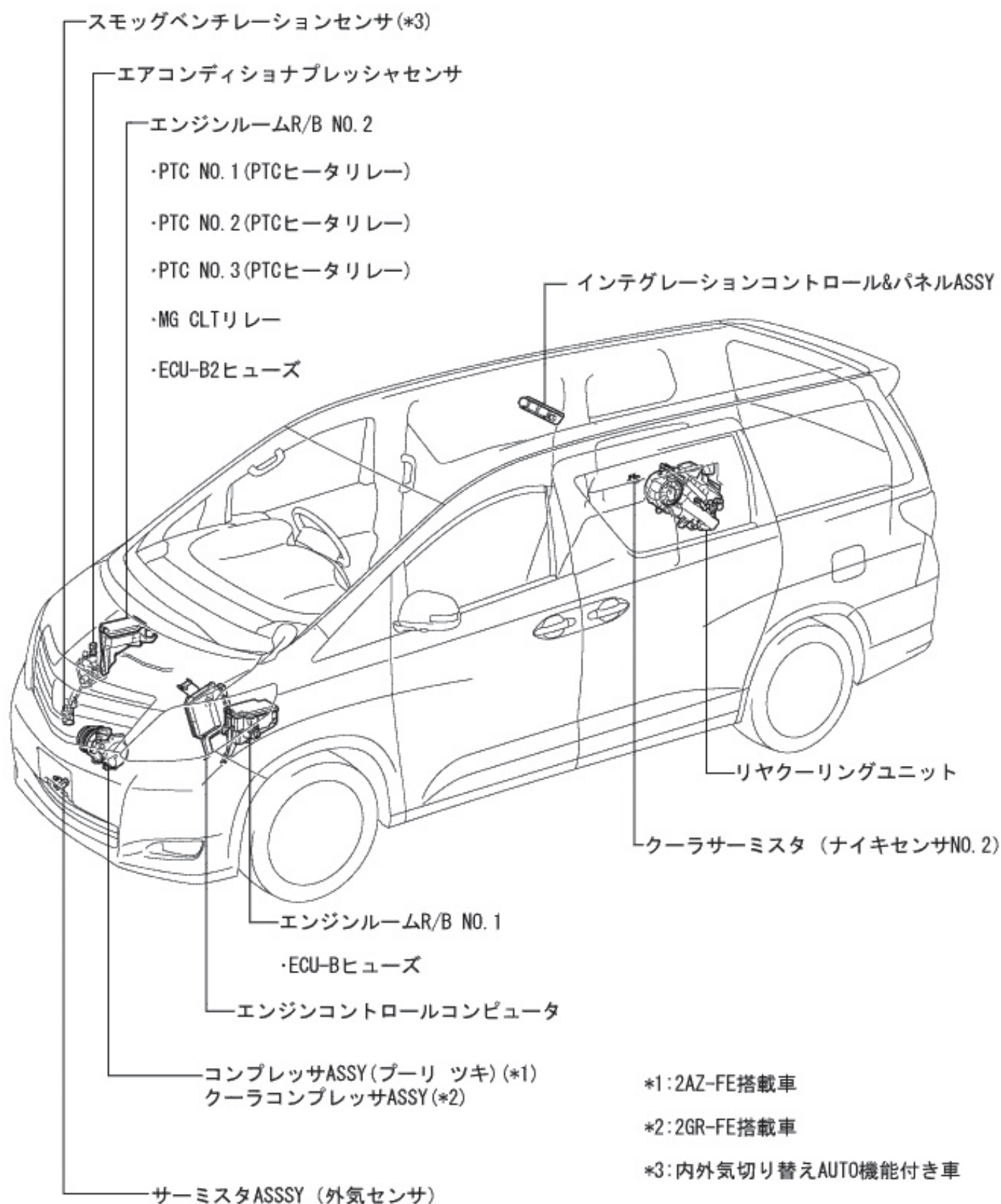
28 ワゴン R／ワゴン R スティングレー

(MH23S 型)

1. 自己診断 339
2. 部品配置図 344
3. 配線図 345

※ OEM 車両は供給元 (ベース) 車両を参照して下さい。

- ダイハツ ブーン (M6) ⇄ トヨタ パッソ (C3)
- スバル ステラ (LA10 #) ⇄ ダイハツ ムーヴ (LA10 #)
- マツダ スクラム (DG64) ⇄ スズキ エブリイ (DA64)
- 日産 NV100 クリッパーリオ (DR64) ⇄ スズキ エブリイ (DA64)
- 日産 ルークス (ML21) ⇄ スズキ パレット (MK21)
- マツダ AZ-ワゴン (MJ23) ⇄ スズキ ワゴン R (MH23)



■収録内容

◎年式：平成 21 年 5 月～平成 27 年 12 月	◎自己診断機能：オート A/C
◎部品配置図：オート A/C	◎配線図：オート A/C

1. 自己診断

◎オート A/C

◎全車

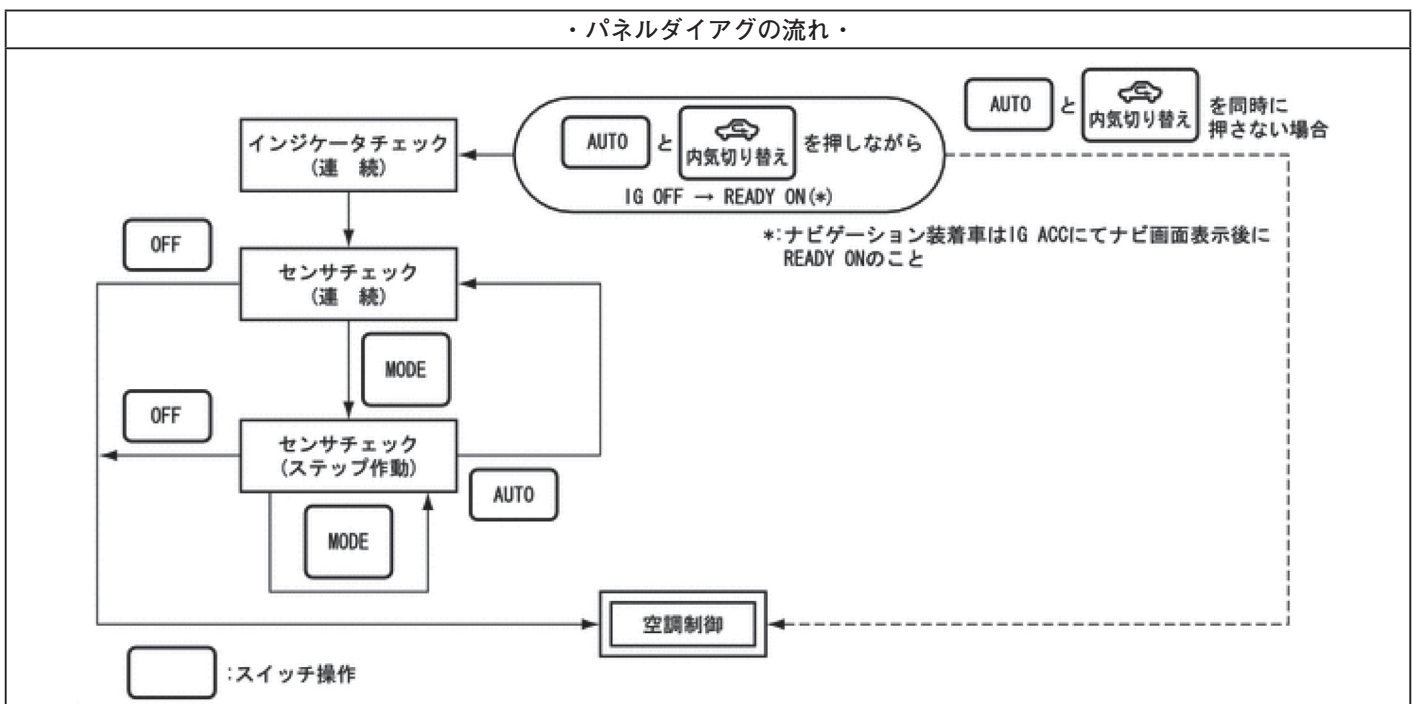
■自己診断機能

◎パネルダイアグノーシス機能

●下記に示す、チェック内容を行うことが出来る。

- ①. インジケータチェック ➡ 各スイッチの作動インジケータ、設定表示部の点滅及びブザー吹鳴が可能。
- ②. センサチェック ➡ センサの故障状況（過去・現在）のチェック、過去故障データのクリアが可能。

・パネルダイアグの流れ・



◎診断ツール機能

●下記に示す、チェック内容を行うことが出来る。

- ①. ダイアグコード ➡ ダイアグコードの読み取り、消去が可能。
- ②. ECU データモニター ➡ ECU データの確認が可能。
- ③. アクティブテスト ➡ リレー、ブロワモータ、ダンパモータ等の任意駆動が可能。

■ダイアグコード点検

- ①. IG OFF 状態で、SST(TaSCAN) を DLC3 に接続する。
- ②. IG ON にする。
- ③. SST(TaSCAN) の画面表示に従って [診断メニュー] → [ボデー] → [A/C] 画面を表示させ、[ダイアグコード / フリーズデータ] を選択する。
- ④. ダイアグコードの確認を行う。

■ダイアグコード記憶消去

- ①. IG OFF 状態で、SST(TaSCAN) を DLC3 に接続する。
- ②. IG ON にする。
- ③. SST(TaSCAN) の画面表示に従って [診断メニュー] → [ボデー] → [A/C] 画面を表示させ、[ダイアグコード / フリーズデータ] を選択する。
- ④. 画面表示の “ 消去 ” を選択し、データの消去を行う。

■収録内容

◎年式：平成 20 年 6 月～平成 26 年 2 月	◎自己診断機能：オート A/C
◎部品配置図：オート A/C	◎配線図：オート A/C

1. 自己診断

◎オート A/C

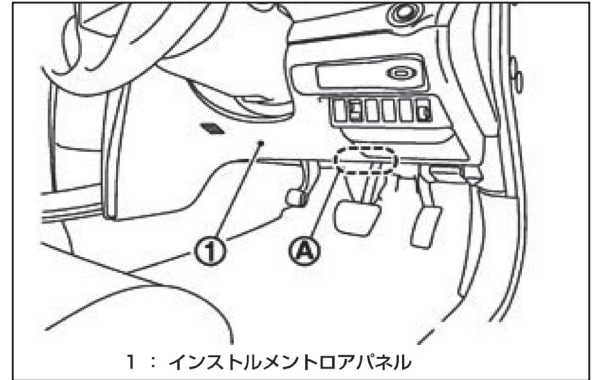
◎全車

■自己診断検出

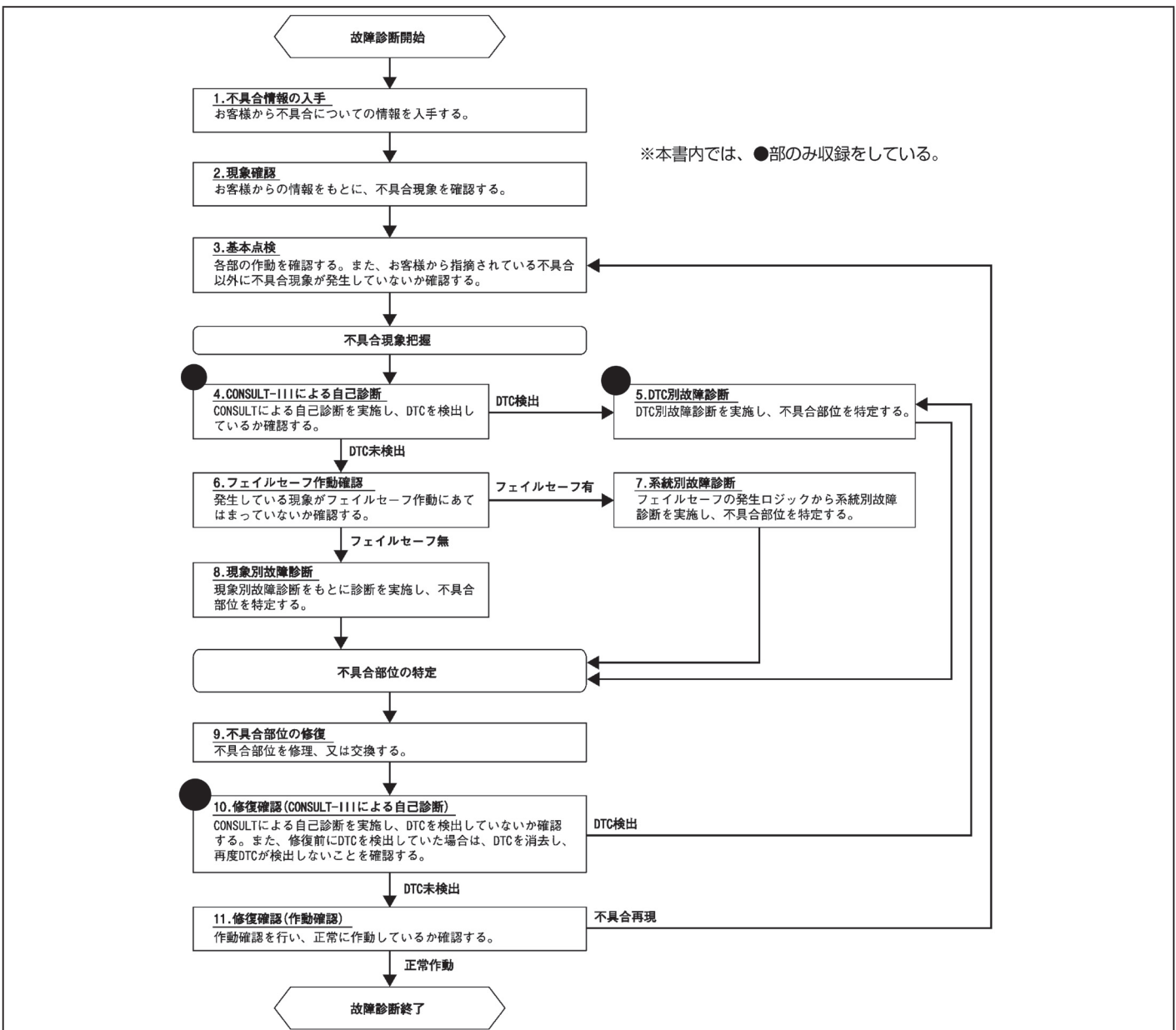
- 自己診断は CONSULT-III を使用して DTC 検出作業を行う。
CONSULT-III は、車両側に設けた診断コネクタ (A) に接続することにより、車載のコントロールユニットと通信し、各種診断が行える。
自己診断読み出しは、A/C オートアンプが判定した不具合診断結果を表示する。

《参考》

- ・自己診断中に、バッテリー電圧が 12 V 未満になるとアクチュエータの作動速度が遅くなり、正常作動時でも NG と判断される場合がある為、診断はエンジンを始動して行う。
- * 自己診断の消去は、CONSULT-III の電源を OFF にすることで消去される。



■診断フローの概要



■収録内容

◎年式：平成 20 年 1 月～平成 24 年 12 月	◎自己診断機能：オート A/C
◎部品配置図：オート A/C	◎配線図：オート A/C

1. 自己診断

◎オート A/C

◎全車

■サービス・コード点検

- ①.M-MDS ※ をダイアグノシス・コネクタ 2 に接続する。

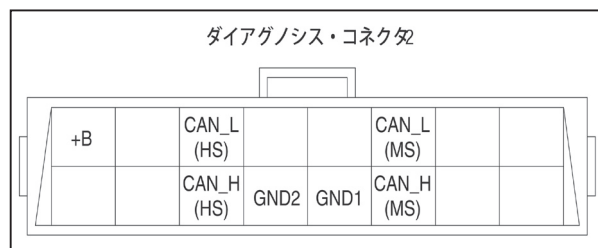
※マツダ・モジュラ・ダイアグノスティック・システムの略

- ②.60W の白熱灯で約 100mm の距離から日射センサを垂直に照らす。

《参考》

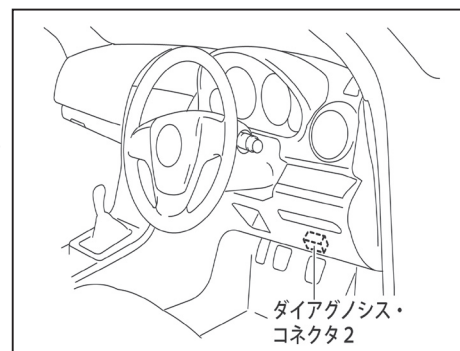
日射センサを白熱灯で照らしていない場合、故障と判断し、サービス・コード B1A63:12、B1A63:13、B1A64:12、B1A64:13 が表示される。

- ③.車両識別後、M-MDS の初期画面の設定を行う。
 ④.画面の指示に従いサービス・コードを確認する。
 サービス・コードが表示される場合、該当するサービス・コード別点検に従って、不具合箇所を修復する。
 ⑤.故障修復後は、記憶されているサービス・コードを消去する。



■メモリ消去手順

- ①.M-MDS をダイアグノシス・コネクタ 2 に接続する。
 ②.車両識別後、M-MDS の初期画面の設定を行う。
 ③.画面の指示に従いサービス・コードを確認する。
 ④.サービス・コード表示画面から消去ボタンを押し、サービス・コードを消去する。
 ⑤.エンジン・スイッチを OFF (LOCK) 位置にする。
 ⑥.エンジン・スイッチを ON の位置にし、6.5 秒以上待つ。
 ⑦.サービス・コード点検を行う。
 ⑧.サービス・コードが表示されていないことを確認する。



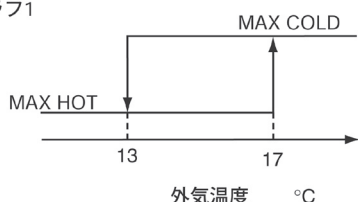
■フェイル・セーフ機能

- 故障検出機能で異常があれば故障と判定し、下記制御を行い、フル・オート・エア・コンディショナの異常な作動および出力部品の故障を防ぐ。

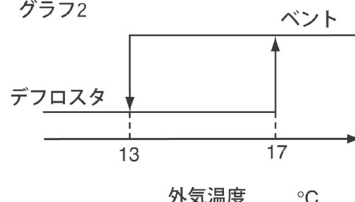
ー フェイル・セーフ機能一覧表 ー

故障判定部位	エンジン・スイッチ ON 状態で故障判定した場合	故障状態でエンジン・スイッチ ON した場合
内気温センサ	内気温センサの入力値を故障直前の値に固定	内気温センサ入力値を 25℃に固定
エバポレータ温センサ	エバポレータ温センサの入力値を 0℃に固定	←
日射センサ	日射センサの入力値を故障直前の値に固定	日射センサの設定値を 0 W/m ² に固定
エア・ミックス・アクチュエータ (ポテンショメータ)	故障判定時点でエア・ミックス・アクチュエータの駆動信号を停止。 ただし、設定温度 18.0 時は MAX COLD に、32.0 時は MAX HOT に固定	○ 外気温度に基づいて制御（参照：下図グラフ 1） ただし、設定温度は 18.0 時は MAX COLD に、32.0 時は MAX HOT に固定
モード・アクチュエータ (ポテンショメータ)	故障判定時点でモード・アクチュエータの駆動信号を停止。 ・MODE スイッチによるマニュアル操作はベント・モードのみ受け付ける ・デフロスタ・スイッチ操作は受け付ける	○ 外気温度に基づいて制御（参照：下図グラフ 2） ・MODE スイッチによるマニュアル操作はベント・モードのみ受け付ける ・デフロスタ・スイッチ操作は受け付ける
エア・ミックス・アクチュエータ (モータ・ロック)	故障判定時点でエア・ミックス・アクチュエータの駆動信号を停止。	IG ON 後、通常通りエア・ミックス・アクチュエータ駆動信号の出力を再開。
モード・アクチュエータ (モータ・ロック)	故障判定時点でモード・アクチュエータの駆動信号を停止。	IG ON 後、通常通りモード・アクチュエータ駆動信号の出力を再開。

グラフ 1



グラフ 2



《資料転載協力》

- ・ トヨタ自動車（株）
- ・ 日産自動車（株）
- ・ 本田技研工業（株）
- ・ 三菱自動車工業（株）
- ・ マツダ（株）
- ・ 富士重工業（株）
- ・ ダイハツ工業（株）
- ・ スズキ（株）

【ご注意】

本書は、各自動車メーカーが発行する各種技術マニュアル・データを基にして編集しております。
各種技術マニュアル・データの編集に関しましては、各自動車メーカーより図版等の使用許諾を得て本書に使用しております。従って、図版等についての著作権は、各自動車メーカーに帰属致します。
本書の著作権は、弊社及び各自動車メーカーが有しています。著作権者に、無断でコピーや画像データ等にして使用することは、たとえ一部であっても著作権法違反となりますのでご注意下さい。

◆社名変更の御案内◆

- ◎平成28年4月1日より社名を変更致しました。
社名変更に伴い、電話番号が変わりましたのでお知らせ致します。
尚、住所・FAX番号は従来通りで変更はございません。
(内容のお問い合わせは、下記の編集番号へお願い致します)

～平成28年3月31日

株式会社 自動車公論社 (TEL: 03-3837-5730)



平成28年4月1日～

株式会社 公論出版 (TEL: 編集 03-3837-5731) (TEL: 販売 03-3837-5745)

電子制御システムの故障探求マニュアル (エアコン編／平成28年版)

- 発刊日：平成28年7月
- 定 価：5,800円 送 料：500円（共に税込）
- 印 刷：平成28年7月

■ 発行所：株式会社 公論出版
〒110-0005
東京都台東区上野 3-1-8
TEL：03-3837-5731 FAX：03-3837-5740
http://www.Kouronpub.com